

http://www.minamih.net/



11・12・18(日)
南NEWS NO54

3年生 むさしのリーグの結果 第1節

2011.12.11(日) 緑ヶ丘小学校

○めあての達成

<チームのめあて>

- 1) アプローチのスピードを速くする。2) 技を使って相手にぶつけないドリブル。
- 3) 声を出す。4) どんな時でもあきらめない。

<達成度>

アプローチのスピードについては、だいぶ意識してきてはいますが、まだばらつきがあり、所々相手にボールをけらせてしまうところがありました。しかし、全体を通しては比較的良好でできていたと思います。



相手にぶつけないドリブルについては、アウト・イン、椅子の形、ラン・ウィズザ・ボールなど、積極的にチャレンジしていますが、まだぶつけてしまうことが多く、もっと意識する必要があるようです。

相手との距離感や技のタイミング、スピードなど、今後の練習課題だと思います。

声については、もう少し大きな声ができるとよいと思います。

あきらめないプレーについては、ほぼ全員の選手が最後まで集中してできていたと思います。玉際の競り合いや相手に攻められている時の守備など、よくがんばっていたと思います。

南八王子2-0油面 前半:1-0 得点者:能登君、吉田君

試合開始から南の選手が積極的にプレーし、南が主導権を握る試合となりました。ドリブルも細かいボールタッチで相手をおかわしたり、ラン・ウィズザ・ボールによるスペースへの早いドリブルなどを駆使して、相手ゴールへ攻め込んでいました。

前半6分には能登君が、相手ゴール前でドリブルで敵をおかわし、左足を振り抜きシュート!南の先制点で前半を折り返します。

後半は選手全員が交代して挑みましたが、南の勢いは変わりません。開始2分、右サイドのセンターライン付近でボールを奪った吉田君が、そのまま鋭いラン・ウィズザ・ボールでドリブルし、相手ゴール前で敵をおかわすとそのままシュート!相手キーパーも反応できずゴール!!すばらしいドリブルシュートで追加点を奪いました。その後も積極的に相手ゴールに攻め込み、相手にはほとんど自由なプレーをさせませんでした。

追加点を奪うことは出来ませんでしたでしたが、失点もなく、2-0で初戦を勝利することが出来ました。

南八王子2-0エルマーズ 前半:1-0 得点者:珍部君、吉田君

2試合目も試合開始から南が主導権を握る展開となりました。開始6分、右サイドにドリブル突破した佐藤くんが絶妙なクロスボールを上げ、そのボールに反応した珍部くんが左サイドから走りこみシュート!見事な連携プレーで先制します。

前半を1-0で折返し、二試合目も一試合目と同様に選手全員交代で後半に挑みました。

後半は相手チームも必死に攻めてきて、一進一退の接戦となりました。両チームとも得点できないまま進んだ後半14分、岩田君がドリブルで中央突破すると、ペナルティエリア手前で相手選手に倒され、フリーキックのチャンスを得ます。吉田がキッカーを任せられフリーキックを蹴ると、跳ね返ったボールのこぼれ玉にすかさず吉田君が再び反応し、ペナルティエリアのライン付近からミドルシュート!

ついに南が追加点を奪うことに成功します。

その後、相手チームの猛攻をうけますが、選手全員が集中を切らさずに一丸となり、宇和城君のナイスセーブにも助けられ、二試合目も無失点で勝利することができました。

今回の2試合を通してですが、一人一人がしっかりと試合に集中していたことが勝因だと思えます。また、ぶつけないドリブルや速いアプローチなど、まだまだ練習は必要ですが、選手達は一生懸命チャレンジしていました。

これからもドリブルに磨きをかけ、みんながぶつけないドリブルが出来るようにガンバリましょう!それとシュート前のボールコントロールを大切にして、しっかりとシュートが打てるようにしましょう! by 能登コーチ

4年生 むさしのリーグの結果 第1節 2月11日 緑ヶ丘小学校

○試合のテーマ:ワンツー ドッチング コーチング ファーストタッチ

南八王子2-2油面 前半0-0 得点者 斉藤君 工藤君

前半は守備の時間帯が長く中々攻撃に転ずることができませんでした。

後半は交代でトップ下に入った斉藤君が相手ゴール前の混戦で押し込み先制点を挙げる。その後これも相手ゴール前の混戦で粘りをみせた工藤君がシュートを決めました。2失点はどちらもアプローチが甘く、シュートコースを開けてしまい決められました。この試合ではテーマに掲げた事がほとんど出来ませんでした。

○2試合目のテーマ:声だし 浮き球の処理

南八王子2-3エルマーズ 前半2-2 得点者 工藤君2

1試合目の反省から声だしと、浮き球への対応が悪く落下点に入れない場面が見られたので2つのテーマに絞りました。

前半開始早々ドリブルで持ち込まれミドルシュートを打たれて失点。(相手への寄りが遅い)その後一進一退が進み9分には工藤君のシュートが決まり同点となりました。続く12分過ぎは工藤君がPKを得てこれを落ち着いて決め逆転に成功したが喜びはつかの間、直ぐに失点してしまい同点で前半を終わる。

後半開始早々30秒で失点してしまい、返すことが出来ず終了となりました。

声だしはあまり聞こえず、相手の声ばかりが聞こえた試合でした。相手への寄りも甘く自由にさせてしまった事も今後の課題です。ドリブルの名手もいる4年生。本来の元気の良さができれば市内リーグ戦の時のような試合ができるはずです。自分のめあて・チームのめあてを持って、自分達でめざすサッカーを創っていきましょう。 by 小松コーチ